



2023年9月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2023年8月14日

上場会社名 リビン・テクノロジーズ株式会社
コード番号 4445 URL <https://www.lvn.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川合 大無

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部部长 (氏名) 金木 宏之

TEL 03-5847-8556

四半期報告書提出予定日 2023年8月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年9月期第3四半期の業績(2022年10月1日～2023年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第3四半期	2,442	6.4	322	3.4	323	3.5	206	3.6
2022年9月期第3四半期	2,295	2.4	333	228.1	335	207.8	213	235.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年9月期第3四半期	153.35	153.15
2022年9月期第3四半期	159.23	158.81

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年9月期第3四半期	1,985	1,353	67.5
2022年9月期	2,008	1,143	56.4

(参考)自己資本 2023年9月期第3四半期 1,339百万円 2022年9月期 1,133百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年9月期		0.00		0.00	0.00
2023年9月期		0.00			
2023年9月期(予想)				0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年9月期の業績予想(2022年10月1日～2023年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,500	15.5	500	31.7	500	31.4	272	15.5	202.46

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年9月期3Q	1,343,588 株	2022年9月期	1,343,488 株
期末自己株式数	2023年9月期3Q	22 株	2022年9月期	22 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年9月期3Q	1,343,477 株	2022年9月期3Q	1,342,382 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料「1.(3)業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第3四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	5
(会計方針の変更)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類感染症に移行することが決まるなど、社会経済活動の正常化により、景気の緩やかな回復がみられました。その一方で、エネルギー価格をはじめとする物価高騰や海外景気の落ち込みにより、社会や経済環境は依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社を取り巻くインターネット広告市場においては、AIを活用した広告運用手法、通信環境の進展、デバイスの拡張などを背景に、引き続き堅調な成長が予想されますが、2024年内にサードパーティークッキーが完全に廃止されると見込まれるなど、注視が必要な状況であります。

このような状況の下、当社は、2023年9月期を「継続チャレンジフェーズ」として組織体制を一新し、5つの重点施策に全力で取り組む年度と位置付け、株主の皆様のご期待に応えるべく企業価値の向上に取り組んでおります。第3四半期における主な取り組みとハイライトは以下の通りです。

- ・採用力の強化を図る目的で、採用サイトをリニューアルしました。
- ・2023年9月期第2四半期において締結したコスモテクノロジー株式会社との事業譲渡契約のとおり、不動産管理会社向け営業支援SaaS『BAIZO KANRI』事業の譲り受けが完了しました。
- ・外壁塗装の比較サイト『ぬりマッチ』のクライアント数が700社を突破しました。
- ・VR住宅展示場『メタ住宅展示場』のモデルルームの掲載棟数が400棟を突破しました。
- ・より多くの投資家様に投資判断の機会を頂くことを目的に、ログミー株式会社が運営する『ログミーファイナンス』にて、2023年9月期第2四半期の決算説明会の書き起こしを公開しました。

この結果、当第3四半期累計期間の経営成績は、営業収益2,442,992千円（前年同期比6.4%増）、営業利益322,446千円（前年同期比3.4%減）、経常利益323,447千円（前年同期比3.5%減）、四半期純利益206,022千円（前年同期比3.6%減）となりました。

なお、当社は、不動産プラットフォーム事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における総資産は1,985,482千円となり、前事業年度末と比較して22,955千円減少いたしました。これは主に、投資その他の資産が221,754千円増加した一方で、現金及び預金が304,677千円減少したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債は631,639千円となり、前事業年度末と比較して233,546千円減少いたしました。これは主に、未払法人税等が98,279千円、未払金が36,253千円、1年内返済予定分を含む長期借入金34,977千円減少した一方で、賞与引当金が34,173千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産は1,353,842千円となり、前事業年度末と比較して210,591千円増加いたしました。これは主に、四半期純利益を206,022千円計上したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想に関しましては、2022年11月14日の「2022年9月期 決算短信」で公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年9月30日)	当第3四半期会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,279,834	975,156
売掛金	488,497	595,965
その他	94,563	30,400
貸倒引当金	△8,586	△11,356
流動資産合計	1,854,308	1,590,166
固定資産		
有形固定資産	8,272	10,574
無形固定資産	8,928	26,059
投資その他の資産		
投資有価証券	19,579	239,553
その他	118,850	120,630
貸倒引当金	△1,501	△1,501
投資その他の資産合計	136,928	358,682
固定資産合計	154,128	395,315
資産合計	2,008,437	1,985,482
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,925	2,067
1年内返済予定の長期借入金	150,842	115,865
未払金	273,041	236,788
未払法人税等	135,528	37,249
賞与引当金	—	34,173
その他	154,744	138,997
流動負債合計	719,082	565,139
固定負債		
長期借入金	146,104	66,500
固定負債合計	146,104	66,500
負債合計	865,186	631,639
純資産の部		
株主資本		
資本金	194,260	194,295
資本剰余金	163,260	163,295
利益剰余金	776,213	982,236
自己株式	△103	△103
株主資本合計	1,133,631	1,339,723
新株予約権	9,619	14,118
純資産合計	1,143,251	1,353,842
負債純資産合計	2,008,437	1,985,482

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)
営業収益	2,295,048	2,442,992
営業費用	1,961,117	2,120,546
営業利益	333,931	322,446
営業外収益		
受取利息	177	613
雑収入	2,042	581
その他	137	428
営業外収益合計	2,357	1,623
営業外費用		
支払利息	1,019	622
営業外費用合計	1,019	622
経常利益	335,269	323,447
特別損失		
固定資産除却損	109	—
特別損失合計	109	—
税引前四半期純利益	335,160	323,447
法人税等	121,416	117,424
四半期純利益	213,744	206,022

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。

なお、当該会計基準適用指針の適用が四半期財務諸表に与える影響はありません。